

旭硝子株式会社 2014 年度 12 月期通期決算および
新経営方針“AGC plus”説明会 主な質疑応答

広報・IR 室

【全社】

Q1. 為替の影響を教えてください。

A1. 為替は、米ドルに対して1円円安になることによって、営業利益に約4億円のマイナス影響があります。これは、米ドルに連動して他の外貨も変動するものとして、輸出入による感応度や海外子会社を連結する際の換算差など、為替変動による全ての要因を含めて試算しています。

Q2. 足元の配当水準から考えると、配当性向の目安30%を大きく上回っていますが、配当の考え方を確認させてください。

A2. 配当は長期の業績をベースに考えています。2017年には営業利益1,000億円超を目指しており、その時点では配当性向は適正な水準に近づくと見込んでいます。

【ガラス】

Q1. 2015年のガラス事業の見通しを教えてください。

A1. 建築用ガラスの出荷は東欧で低迷する懸念はありますが、全体としては堅調に推移する見込みです。欧州や北米での構造改革施策の効果もあり、収益は改善することを見込んでいます。

【電子】

Q1. 液晶用ガラス基板の前四半期比の出荷、価格動向を教えてください。

A1. 2014年第4四半期の出荷数量は横ばいで推移し、価格の下落幅は緩和しました。

【化学品】

Q1. 化学品事業が、2014年第4四半期に大幅増益となった要因を教えてください。

A1. クロール・アルカリ製品やライフサイエンスなどのフッ素関連製品の出荷増に加え、原燃材料価格下落の影響があり、大幅な増益となりました。

以上